

2014年新春

KUNIKO

magazine

京都府議会議員
わたなべ邦子



府政報告

クニコマガジン

contents

- 台風18号被害の現場から
- 京都府議会海外調査
- 関西広域連合
- 写真で見る地域活動
- NEWS&TOPICS など



宇治川・木津川の水位も高く、心配しましたが、被害が出ずに安堵

先人の知恵として久我の神川小学校体育館には避難用の船を設置

水がひいたあとの河川敷は流木やごみに埋め尽くされていました



二次災害に備え土嚢を積み自衛隊の皆さん

16日夜に小栗栖を訪れた時の様子

落下防止で濠川を回る南浜の皆さん



鴨川から泥水が流れ込み、床上床下浸水の被害が続出。同じ被害が出ないように取り組んでいきます

―台風18号被害の現場から― 力を合わせて 困難に立ち向かう 地域の絆の 大切さを実感

9月16日

鴨川の堤防を越えた
濁流が下鳥羽を襲う

平成25年9月16日、午前5時5分、京都、滋賀、福井に大雨特別警報が発令。台風18号による豪雨が前日から降り続き、鴨川が堤防を越えて下鳥羽に流れ出しているという連絡が入りました。

自宅を出ると、まずは醍醐地域を流れる山科川や合場川などの確認に向かいました。水位の高さに驚くものの、決壊には至らないと思いましたが、この時、排水ポンプ停止で小

栗栖が浸水している情報は入っておらず、久我や羽束師も浸水しているが、橋が通行止で渡れないと連絡が入ったため、下鳥羽に向かいました。

近くまで来て被害の大きさに愕然。国道1号と丹波橋通の交差点に泥水が流れこみ、周辺の住宅街も冠水しています。徒歩で千本通に向かうとき、坂の上から泥水がすごい勢いで流れてきて、思うように歩けません。水かさは足首位でしたが、その力の強さに水害の怖さを実感しました。

千本通には、水防団、消防団、地域住民の皆さんが集ま

り、流れ込む水の様子を監視しておられました。皆さんに状況をお聞きますと、深夜に鴨川の水位が堤防ぎりぎりになったため、皆で土嚢を積んだものの、あつという間に水は越えてしまったとか。皆さんは避難して無事と聞き、安心しましたが、被害の大きなところは民家の1階が水没。2階に避難した住民を自衛隊がボートで救出したそうです。

午前9時頃には雨も止み、鴨川の水位も下がって泥水の流入も止まりました。住民の皆さんから安堵の表情が見られました。水害の爪痕は大きく、皆さんは自宅に戻って片付け作業を始められました。

9月16日

伏見区内の被害状況を
訪ね歩いて確認に回る

桂川に架かる羽束師橋の通行止が解除されたため、久我・羽束師に向かいました。すで

に水が引いており、夜通しで尽力いただいた水防団や消防団の皆さんにお話を聞くと、桂川上流のダムが放流すること、雨がやんでも水位が上がって水害に襲われるのではと不安の声が上がったため、関係部局に連絡をとり、その心配はないことを確認。皆さんにお伝えしました。

その後、宇治川と木津川による被害の恐れがある淀・淀南学区に向かいましたが、大

床板をはがして、床下の泥をかき出す。倉庫が浸水して商品が全損した布団店(右)



皆さんが、どの家がどれぐらいの被害が出ていて、ボランティアの手伝いが必要とすることがどうかを聞いてくださっていました。

被災された方がやってほしいニーズと、ボランティアの

きな被害もなく一安心。
続けて京都府が管理する伏見港公園が水没したと聞いて伏見南浜の濠川周辺、さらに上流にあたる伏見板橋、伏見住吉を訪れ、皆さんの無事と被害状況をお聞きしました。
時刻は夜になっていましたが、最後に小栗栖を訪問。この付近の山科川は京都府の管理ですが、流れ込む支流は京都市の管理で、小栗栖排水機場も京都市の設備です。夜間では何も見えないため、翌日に改めて伺うことにしました。

9月17日・18日

知人らに声をかけてボランティア作業を

17日、朝から小栗栖を訪問。道路に泥が残り、浸水した家の前では泥に汚れた家具や電化製品が並び、京都市清掃局の職員の皆さんが回収作業に動んでいました。地元の方の案内で被害の大きなところを見て回り、訪れるのが遅れたことを詫言ながら、皆さんの声を聞かせてもらいました。午後からは開会した府議会9月定例会に出席。24日から3日間の予定だった一般質問を2日に短縮して、26日に山田知事と議長が国に台風被害の要望を陳情してもらうことを決めました。

わたなべ邦子は、すでに準備していた一般質問の内容を台風18号被害について変更することにしたため、各部署との調整で一日が終わりました。18日も小栗栖、下鳥羽、久我を回りましたが、被害にあ



小栗栖を回り、皆さんの声をお聞きました

われた家の皆さんは、汚れた家具を洗ったり、道路の泥を洗い流したり、作業をされるので精一杯の様子でした。
その夜、下鳥羽の自治会の方から連絡をもらい、「床下の泥をかき出す作業を手伝ってくれる人がいないか」との問い合わせがありました。

のボランティアに個人で参加しました。その経験を生かし、知人や友人に声を掛け、即席のボランティアを結成し、下鳥羽に入ることにしました。

9月19日・20日・21日

受入体制も万全だった町内会組織に感激

実は水害被害が出た16日の昼に、大学職員の知人から「大学が学生ボランティアを派遣できる」との嬉しい連絡がありました。ところが、京都市災害ボランティアセンターは、情報の集約が間に合わず、ボランティアの受付も派遣も数日後になるとの回答。受け入れできないことを伝えると南丹市より要請があったので、そちらに回るとの返事が大学からあり、皆さんの善意に応えられないことを詫言しました。
わたなべ邦子は、昨年の宇治市の弥陀次郎川の水害で、発生した翌日に泥のかき出し

19日早朝、急なお願いでしたが、6人の方が集まってくださり、一緒に下鳥羽へ。この日は府議会の本会議のため、午前中しかお手伝いできませんでしたが、集まっていた皆さんは、一日中作業してくださいました。20日も皆さんは一日中、わたなべ邦子は本会議のため、午前中だけ泥のかき出しなどをお手伝い。

21日、諸々の調整が整った京都市災害ボランティアセンターと伏見区社会福祉協議会の協力で、多くのボランティアの皆さんが、下鳥羽に入ってくださいました。自治会の



水没した機械室の様子を確認する山田知事



係留物は補償の対象外でしたが、山田知事の尽力で三十石船も修復対象になりました

マッチングをうまくしなければ、せっかくの人材や厚意を無駄にします。
役員さんに案内されたボランティアの方たちは、すぐに作業にかかることができ、泥のかき出しや荷物の運び出しなどを始めました。
細い路地の奥の家は、処分する家具を表通りまで出すのは大変なので、回収車の職員にお願いして、奥まで入ってもらいました。また「水害で壊れたブロック塀を清掃局は回収できない」と言われて困っているとの声を聞き、土木事務所にお願ひして引き取ってもらえるように手配し、スムーズに清掃作業が進むように働きかけました。

9月21日

山田知事と被災を視察早期の復旧を約束

21日、山田知事が水没した伏見港公園の体育館や屋内

プール、破損した三十石船を視察に来てくださり、それに同行。機械室が完全に水没してしまい、電気・機械類が完全に壊れてしまい、すべてを入れ替えることになりました。
現場の状況や職員の話を聞いて、山田知事も被害の大きさを実感されていました。

復旧には多額の費用と時間が必要で、同じような豪雨で水害が発生したときに被害にあわないための対策を実施しなければなりません。

プールやテニスコート、体



山田知事は府内各所を回られて、様々な対応・対策を指示していただきました

土木事務所が 築いた一夜城が 不安を取り除き 府民を笑顔に



台風24号に不安がる住民の皆さんのために、京都土木事務所が緊急で造ってくれた土嚢の堤防

ている住民が多く、台風が続
けて発生しているので、目
に見える対策をとってほしい
との意見が出ました。

会合の2日後の10月7日、
土木事務所の所長から「台風
が近づいているので、緊急で
土嚢を積むように手配した」
と連絡があったのです。「自
分たちも一緒に土嚢を積みま
す」と言ってくれた下鳥羽の
皆さんは大変喜んでくださり、
作業現場には自治会や水防団
の皆さんが集まって「作業を
手伝います」とおっしゃった
のです。

府民の安全のために働くこ
とは、府職員にとって当たり
前ですが、土木事務所の職員
も感動していました。

作業現場の堤防には、府か
ら委託された地元企業の職人
さんが来られていたので、下
鳥羽の皆さんと私は、堤防の
草刈りや通行人の誘導を行
いました。



草刈りをしてくださった水防団の皆さん

翌日、京都土木事務所の力
作である土嚢の堤防が完成し、
その出来の素晴らしさに、誰
もが笑顔で喜んでいらっし
やいました。台風は熱帯低気
圧に変わり、この堤防の出番は
ありませんでしたが、住民の
皆さんの「心の安心」の一
つとしてその役目を果たしてく
れたいと思います。

後日、下鳥羽の方が土嚢の
そばの樹木付けられた荷札を
届けてくれました。近所の住
民の御礼の言葉が記されてい
て、心が熱くなりました。

9月23日 5日間の作業経験を 必ず府政に生かします

水害発生後、19〜23日の5
日間、皆さんと一緒にお手伝
いできることに取り組みまし



ボランティアで活動してくださった皆さん

た。清掃や家財道具の処分な
ど、およその目処がついたと
のことで、ひとまずボランテ
ィアで入るのを終了するこ
になりました。

本会議や先約の行事の出席
で、十分なことはできません
でしたが、皆さんと一緒に汗
をかくことで、同じような被

害が出ないために何をすべき
かを考えるヒントをいただき
ました。この経験を府政に生
かし、安心安全なまちづくり
を行いたいと思います。

10月4日・5日・7日 台風24号の不安を 吹き飛ばす一夜城

今回の水害で水防団や地元
の方が気づいたことが多くあ
り、「水害が出る前に堤防の
側面から水が出ていた箇所が
ある」などの情報を聞いてい
ました。同じような被害に遭
わないために中長期的な取り
組みも必要なので、土木事務
所の職員と水防団や自治会の
皆さんと一緒に、10月4日に
現場を見て回ってもらい、5
日の会合に出席して地域の皆
さんの声を聞いてもらいまし
た。会合では自分の被害より
地域のことを優先する要望ば
かりで感動。また、水害の恐
怖が強くて不安な夜を過ごし

今回の被災で思うこと 府民の皆さんの笑顔の ために活動します

甚大な被害をもたらした台
風18号は、国・府・市の河川
管理によって連携に支障が出
ること、ボランティアへの対
応や手配が十分でないことな
ど、様々な取り組みべき課題
をあらわにしてくれました。

あるときの防災訓練で「災
害時に議員は何をしたらい
か」と質問したことがありま
す。府職員は「職員は府民の
ために行動するので、議員の
応対に即応できないから待機



土木事務所に感謝を伝えるメッセージ。雨
に濡れて破れそうだったので、わざわざ外
して届けてくださいました

してほしい」と回答しました。
その理由は理解できますが、
わたなべ邦子は府議会議員で
ある前に、一人の府民であり、
一人の市民なので、目の前に
困った人がいれば、その場で
できることに取り組み、そこ
で得た経験を府政に生かした
と思っています。

台風被害の補償など、問題
解決がこれからのところもあ
るので、現場を見て、一人ひ
とりの声を聞いて、解決策を
考えて実行します。

今回の水害を通して、災害
を乗り越えるのは「地域の絆」
であることを実感しました。

これからも、地域の絆
を深めて、皆さんが笑
顔になるように取り組
んでまいります。

今後も伏見区で様々な活
動や運動に取り組まれて
いる皆さんを紹介してい
きたいと考えています。
皆さんの声をわたなべ邦
子までお寄せください。

京都府議会海外調査

フランス・ドイツの先進事例に学び、府政に生かす



まゆまるTシャツで京都をPR

環境に優しいドイツのスタジアム

ストラスブールの洗練されたトラム

フライブルク市エコタウン

クレアパリ事務所黒瀬所長が案内

ストラスブールの地下駐車場

ネッカー川のソーラーボート

分からないことは積極的に質問

カールスルーエ・エネルギーの丘

アルザスワインを調査

町の活性化の原動力を学ぶ

世界各国の先進事例を学び、京都府政に生かすために、府議会議員で調査団を結成し、海外調査を実施しています。

平成25年9月2日～6日までの5日間、わたなべ邦子は9名の府議会議員と一緒に、フランス・ドイツの2カ国の様々な施設を視察しました。

フランスの世界遺産都市のストラスブール市は、多くの車の流入で、大気汚染・騒音・渋滞などの問題を抱えているため、トラム（路面電車）の導入、パーク＆ライドや自転車利用の促進に取り組む、大きな成果を得ています。印象に残ったのは、日本では公共交通の赤字は厳禁のイメージですが、公共交通は採算が採れなくても市民のために必要な税金を投入しても事業を続けるという考え方で、運賃収入53%、その他の

収入4%で、残りは都市圏共同体が負担しているそうです。他にもアルザスワイン協会の視察では、原産地呼称制度（AOC）を活用した地域活性化が、京野菜や京都ブランドの農畜産物の発展の参考になりました。

環境問題は世界共通の悩み

ドイツ・フライブルク市では環境政策、交通政策、エネルギー政策について学習しました。ハイデルベルク市で、世界文化遺産の旧市街地の活性化と環境政策について学び、テクノロジーパークを見学。カールスルーエ市では、ゴミの山をエネルギーに変える取り組みを視察しました。

国が異なっても同じような問題を抱え、それを解消する取り組みは、大変参考になりました。世界の人々が訪れる京都にふさわしいまちづくりの提言に生かしていきます。

関西の活動や人脈が広がる

平成25年6月に京都府を代表して関西広域連合議会議員を拝命し、関西圏での広域な活動や政策に携わる機会が増えています。最近では、電力の過不足分の需給の対策、広域観光・文化振興の推進、京都南部と滋賀県を所管するドクターヘリの運航、関西ワールドマスターズゲームズ開催に向けた意見交換など、様々な課題の協議を重ねています。

臨時会で一般質問に初登壇

11月21日に開催された11月臨時会では、京都府を代表して一般質問を行いました。

台風18号では被災した府県市に積極的な支援を実施して、京都府に9名の職員を派遣されたこと、京都・大阪で洪水被害が起らないように瀬田川洗堰の全開操作を行っていたいただいた滋賀県に厚く感謝を

述べました。また、今後あらゆる災害に対して、広域的な連携の推進を求めました。

関西広域連合は、文化振興に積極的に取り組んでおり、11月16・17日を「関西文化の日」として、513の美術館・博物館が無料利用できましたが、関西広域連合の主催と知らない方が多い現状を伝え、認知を高める取り組みが必要と訴えました。

その他にも、地元の醍醐小学校区で開催された「シニア運動会」に参加したことで運動を始めるきっかけになったことを例にあげて、2021年に関西で開催されるワールドマスターズゲームズを、開催運営を目的にするのではなく、生涯スポーツや健やか長寿のきっかけになるような取り組みが必要ではないかと訴えました。

今後も広い視点で一つひとつ案件に取り組んでいきます。

2府5県4市の広域で住民のために広域連携 関西広域連合



11月臨時会で初登壇の様子

京都府を代表して関西広域連合議会の理事会に参加

山田知事、井戸連合長、日村議長（兵庫県議）と

関西文化の日は、2府8県4市の美術館などが無料で

草津みなと鰐海道祭り



JR奈良線複線化推進決定



時代祭



三栖の炬火祭



伏見御香宮花笠パレード



地域活動



わたなべ邦子は、伏見の皆さんが行われている行事や取り組みに参加して、そこで気づいたことや、いただいた要望を府政に活かすように心掛けています。そんな活動の一部をご紹介します。

京都市スポーツフェスティバル



醍醐もちもちいんウォーク



伏見区民文化祭



薬物乱用防止啓発パレード



城南宮餅まつり



私立幼稚園連盟創立70周年



伏見区
体育振興会連合会60周年



わくわくマルシェ



日野防災訓練



ガールスカウトフェスタ



淀南学区敬老のつどい



京都市バレーボール協会
ソフトバレーボール交流会

昨年からは京都市バレーボール協会の顧問に就任させていただきました。いくつになっても男女問わずにできるスポーツとして、多くの皆さんに親しんでもらえるよう、協力していきたいと思っています。



地域の高齢者の交流の場として春日野学区で2年前に始まりました。皆さんで集まって楽しくおしゃべりするだけでなく健康チェックなども実施され、大変好評。北醍醐、小栗、栖宮山、醍醐、池田東などでも始まり、素敵な取り組みが広がっています。

茶房 やどり木



市民活動活性化事業で「だいでミーティング」を開催。さまざまなことを気軽に話し交流できる場であり、子どもたちの居場所づくり、子育て世代の支援など、話し合いから実行に向けて動き出しています。

だいでミーティング



10月19日、約40名の参加者が集合して、醍醐のまちのお宝を探しに出発。これまでに見つけたまちのお宝スポットを紹介したマップが完成して、それを見ながら皆さんと一緒にまち歩きを行いました。

醍醐トレジャーハンター



京都私学振興会設立50周年



伏見深草里山ウォーキング
てづくり石窯ピッツア教室



淀学区社協餅つき大会



醍醐いきいきフェスタ



ふれあいひろば



醍醐安全フェアパレード



伏見区総合防災訓練



人づくり21世紀委員会
醍醐灯りのハーモニー



京都市日本保育協会50周年



京都環境フェスティバル



京都市PTAフェスティバル



桃山プロジェクト



五色百人一首京都大会



京都府総合教育センター
ワクワクおもしろ学び教室



横大路消防分団市長激励



エコまちフェスタ2013



龍谷大学深草町家キャンパス
深草まち家寄席



「伏見のまちに桃の花をいっぱい咲かせよう」と桃山プロジェクトの皆さんが、企画・呼びかけを実行されて、桃陵団地に60本の桃の苗木を植樹されました。最終目標は千本で、植えても良い場所、手伝ってくださる方を募集中だそうです。興味をお持ちの方は、事務所まで。



京都市では昨年12月、日本酒乾杯条例を全国で初めて制定。それを記念して、日本酒の乾杯でギネス世界記録に挑戦する企画が行われました。2人1組になって腕をクロスした乾杯する「絆杯」を同時に行うのですが、これまでは中国の220組440人が最高記録。そこでそれを大幅に上回る401組802人が伏見大手筋商店街に集まって、記録に挑戦。2時間以上立ちっ放しでしたが1度の絆杯で成功し、わたなべ邦子も記録ホルダーの一人になりました。これからも皆さんと一緒に伏見を盛り上げていきます。

腕をクロスして乾杯でギネス認定
伏見大手筋商店街



あすkyoフェスタ



「あすの京都」を作り上げる府民ぐるみ運動の一環である「あすのフェスタ」。東日本大震災避難者支援プラットフォームの皆さんで協力してひとつのコーナーを作って参加。府の人権啓発イメージソング「世界がひとつの家族のように」も大合唱。

京都ヒューマンフェスタ



世界人権宣言65周年記念で「生命のメッセージ展in京都」も同時開催。地元小学校での児童殺害事件後に、子どもたちと笑顔で取り組めるものと立ち上げた日野ヒップホップダンスサークルも出演しました。



和装振興の取り組み

ドクターヘリの運航



京都府知事選に山田啓二氏を推薦

自民党京都府連は、昨年12月21日に選挙対策常任委員会を開催し、本年4月6日に投票が行われる京都府知事選挙の候補者として、現京都府知事の山田啓二氏の党府連推薦を決定しました。

府民の暮らしを脅かす災害や事件事故に対して率先して指揮をとられ、全国知事会の

会長を務める人望と国が寄せる信頼も厚く、これからの京都の発展と安心安全な府民生活の実現に欠かせないリーダーです。

わたなべ邦子も、共に8年間務めてきましたが、まだまだ京都のため、府民のために一緒に働きたいと熱望しています。

府議会議員補欠選挙自民党公認を決定



京都市北区選挙区



宇治市・久世郡選挙区



城陽市選挙区

知事選挙と同日に実施される京都府議会議員補欠選挙に出馬する候補者について公募選挙によって、右の3名の方が自民党公認に決まりました。わたなべ邦子も共に頑張っています。

表紙のかお



頭のツノはマッチ棒。シュールでかわいい納屋町商店街のキャラクターが誕生

わたなべ邦子が顧問を務める納屋町商店街に、新しいキャラクターが誕生しました。名前は「なやまっち」。個性的な表情がどこか哲学的でカワイイと、じわじわと人気が出ているとか。一度聞いたら頭から離れない「なやまっちソング」や「なやまっち体操」もあり、商店街内で流れています。運が良ければ、なやまっちに会えるかもしれません。



府民生活・厚生常任委員会 管外調査 介護ロボと共生型福祉施設に学ぶ



平成25年11月12日・13日、府民生活・厚生常任委員会の管外調査で神奈川・静岡へ。

神奈川では介護ロボットを見学しました。歩行困難な方が補助器具をつけて訓練を繰り返して、自分で歩けるようになっていました。また心のケアのアザラシ型ロボットなどもあり、介護現場での活用が期待されます。

翌日は静岡県では、老人ホームが障がい者や子育て支援を受け入れる「共生型福祉施設づくり」や、高齢者・障が

京都府議会議員自民党政調会 北陸新幹線の意見交換。

平成25年12月19日・20日、自民党府議会議員団政務調査会の管内外調査で福井市、京都北部を訪問。福井市では、福井県議会自民党県政会の皆さんと「北陸新幹線」に対する意見交換会を行いました。

京都北部では海上自衛隊舞鶴地方総監部を訪問。丹後あ

じわいの郷では運営や活動内容の報告を受けました。宮津から北近畿タンゴ鉄道「丹後あおまつ号」に乗りして綾部・福知山市へ。平成16年台風23号の洪水被害後に10年計画で進めていた河川整備を、台風18号の被害地域を優先して整備する計画などを聞きました。

管内外調査

京都北部を視察

来年度の府予算に関する要望活動で、自民党京都府議会議員団として、各県庁を訪問しました。厚生労働省では、子ども・子育て支援策の充実強化、がん対策の充実強化、障がい者の芸術活動を支えるネットワークの構築などを要望。大臣官房審議官の鈴木氏

政府与党自民党として京都の考えを伝えました 府予算要望活動で国の関係省庁を訪問

は京都府に勤めていたこともあり、全力を尽くすと心強い回答もいただきました。省庁を回り、与党自民党の政策実行力を強く感じました。



文部科学省では、今年から高等教育局長に就任された布村氏と面会。京都府立高等学校 PTA連合会の頃からご縁があり、嬉しい再会でした。

い者・子どもの共生の場をはかる居場所づくりなど、官民一体になった取り組みを視察しました。京都でも参考にしたい、府民のためになる福祉を実現したいと思います。

京都府青少年健全育成功労者等 知事表彰をいただきました



京都府内において、青少年の健全育成に多大な貢献をされた個人や団体、他の模範となる活動を行った青少年や団体の功績をたたえるために、昭和56年に創設された「京都府青少年健全育成功労者等知事表彰」。

わたなべ邦子は、45年続けてきたガールスカウトの活動が対象となり、ガールスカウトの八田指導者委員長と共に今年度の同賞をいただきました。

平成25年11月24日の授賞式には出席できなかったため、ガールスカウト京都府連盟の連盟長や組織委員長と一緒に山田知事を表敬訪問しました。

これからも子どもたちの笑顔のためにさまざまな活動を続けていきます。ガールスカウトに興味をお持ちの方は、ぜひわたなべ事務所までご一報ください。

わたなべ邦子府政報告 KUNIKO magazine を
皆様に広く読んでいただけるようご協力をお願いします。

募集中

- ご自宅に届けてほしい方
- 本誌をお店に設置してくださる方
- 知人や友人に送りたい方

わたなべ邦子事務所までご一報をお願いします。

TEL **075-573-0080** FAX **075-573-0041**

 わたなべ邦子  FB 友達リクエスト歓迎

京都府議会議員



わたなべ邦子 事務所



〈日々の活動をブログで紹介しています〉
<http://d.hatena.ne.jp/watanabekuniko/>

※地下鉄「醍醐」駅より徒歩5分。
「醍醐落西」下車すぐ。



〒601-1351
京都市伏見区醍醐和泉町47
内海ビル2F